



空気砲に歓声(写真上)。スラックラインでバランスを取る(写真左)



## スポーツと科学で笑顔に

### そうじゃわくわくフェスティバル

スポーツと科学に親しむそうじゃわくわくフェスティバルが3月9日、市スポーツセンターを中心に開催されました。

スポーツフェスティバルには、社会人野球の倉敷ビーチジャックスなどから選手を招き、野球・サッカー・バスケットボールの3種目でスポーツ教室を開催。そのほかトランポリンやスポーツチャンバラ、水の上を走る体験ブースなども設置されました。

サイエンスフェスティバルでは、ビー玉万華鏡や磁石の反発する力で浮いて走るリアモーターカーを作る体験、科学ショーなども行われました。

来場した約2000人の親子連れらはスポーツと科学に触れ、楽しい休日を過ごしていました。

## 伝統を受け継ぎ新たな歴史を

### 総社小学校新校舎完成

総社小学校の新校舎が完成し2月28日、完成記念式典が行われ、5・6年生児童、学校関係者、県・市議会議員ら約350人が祝いました。

式は校名看板の除幕からスタート。児童代表の櫻井稜真さん(6年)は、「新校舎が出来上がるのをとても楽しみにしていました。この校舎の新しい匂いを感じながら、気持ちを新たに今しかない小学校生活を大切にしていきたいです」と感謝の気持ちを伝えました。

また、市長から施工業者らへ感謝状を贈呈。児童代表にはクスノキ製の記念品が贈られました。

新校舎は平成29年11月から1年4カ月を経て完成。旧校舎は解体され、運動場や駐車場が整備されます。総事業費は約29億円です。



完成した新校舎。左奥が旧校舎

## ミニフォト

### 優良農業者を表彰(守谷基金)



表彰された野瀬さんと東さん

市の農業振興に貢献した優良農業者の表彰式が2月25日、市役所で行われました。東守さん(原)と野瀬秀子さん(秦)を表彰。原地域の農業経営基盤の創設、女性農業者としての担い手育成などが評価されました。

### 書の巨匠に学ぶ



児童に書を教える高木さん

2月20日、総社市出身の書家、高木聖雨(本名:茂行)さんが母校の常盤小学校で書写の授業を行いました。2年生の児童125人を対象に、書の基本である「土」の字を題材にして、筆の持ち方や運び方を指導していました。

### ヒイゴ池湿地を大切に



デザインした看板を手に笑顔

ヒイゴ池湿地のサギソウやノハナショウブ、ハッコウトンボなどの動植物保護を呼び掛ける図柄を総社北小学校6年生がデザインしました。この図柄を用いた看板が2月21日に完成。3月に同湿地に立てられました。



校名看板の除幕(写真上)。児童代表あいさつ(写真左)。備中温羅太鼓のアトラクション(写真右)



### 金森さん100歳おめでとう



家族に祝福される金森さん

金森千歳さん(西坂台)が2月19日に満100歳の誕生日を迎えられ、市が記念品を贈呈。庭で花を育てることが趣味で、特に菊をよく作っていた金森さん。長寿の秘訣は、一生懸命仕事をしてきたことだそうです。

### 県大生を表彰



表彰を受けた3人

優れた研究や活動をした県立大学生を表彰する総社市奨励賞の表彰式が2月22日、市役所で行われました。清水夕希菜さん、久富彩音さん、森本春香さんの3人を表彰。災害時のボランティア活動への参加などが評価されました。

### 音楽で元気に



華やかなサウンドを届ける

ジュニア・バンド・フェスティバルが2月17日、市民会館で初めて開催されました。SKYMジュニア・ウインドアンサンブルをはじめとする県内6つの小学生吹奏楽団が出演。のびやかなハーモニーを奏で、観客を魅了していました。

### 日頃の成果を披露



日本画の展示

中央公民館まつりが3月2日と3日、総合文化センターで開催されました。ステージでは大正琴や詩吟、太極拳などを披露。日本画や生け花なども展示され、訪れた人は講座生の日頃の成果に見入っていました。

### 庄巻の声量



動きのあるステージで魅了

合唱団こぶの定期コンサート「こぶこん2019」が3月10日、市民会館で開催されました。2団体を加え約80人の団員が20曲を披露。来場した約700人は圧倒的な存在感のある歌声に感動していました。

### 手作りのおひな様



かわいいおひな様を並べる園児

総社幼稚園の5歳児約50人が2月20日、手作りしたひな人形をまちかど郷土館に展示しました。園児らは、この日のために制作。館内には寄贈されたひな人形も飾られ、来館者を楽しませていました。

